

山里川海の一体保全に寄与することを目的に、一般社団法人グリーンバナー推進協会は大自然のなかや一次産業の現場で調査や保全活動を続けております。その現場から、特に気になるトレンドや現象を連続レポートでリアルにお伝えしたいと思います。第6回目は「修験道」をテーマに現場の姿と声をお届けします。



山伏の装束で大峯奥駈道を歩く修験者の皆さん

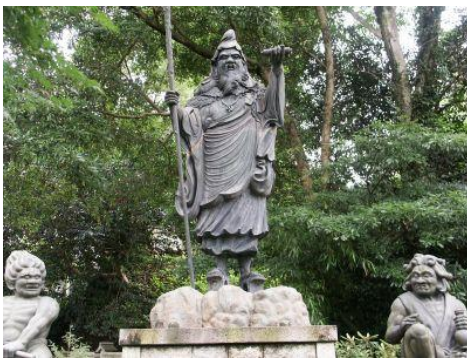
日本古来の山岳信仰と仏教が習合して生まれた「修験道」

グリーンバナー推進協会の活動の柱である森林保全について様々な地域の方々と話す際に、修験道の話が出るが増えてきました。

修験道とは、山へ籠もって厳しい修行を行うことにより、悟りを得ることを目的とする日本古来の山岳信仰が仏教に取り入れられた日本独特の宗教です。森羅万象に神が宿るとされ、山の環境（神奈備）や山中の岩（磐座）を神体とする古神道とも多くの共通点があります。修験道を実践する者は山伏といわれ、特に関西圏では飛鳥時代から広く一般に親しまれ尊敬されていました。ところが、明治元年に神仏分離令が発令されて永年続いた神仏習合の切り離しが行われ、さらに明治5年に修験道禁止令が出されたことで、17万人もの山伏が失職したといわれます。神道による国家統合を進める明治政府の意図で修験道は禁止され、明治19年に修験道禁止令が解かれた後も日本の表舞台からは遠のいてしまっていました。

それが、気候変動による森林災害が増え、一方で外国人観光客が急増する中で山地の森林が観光資源として期待されるなかで、古来より“山のエキスパート”であった山伏と修験道が見直されてきたということです。

数々の伝説を持つ修験道の開祖「役行者」



金峯山寺（奈良県吉野町）の役行者像

修験道の開祖は飛鳥時代の634年に奈良県御所市で生まれたとされる役小角（えんのおづぬ）で、役行者（えんのぎょうじゃ）という呼び名で広く知られています。実在の人物ですが、後世の伝説で超人的な寓話が多く残されています。役行者像は左右に鬼（前鬼と後鬼と呼ばれる夫婦の鬼）を従えていることが多く、鬼神を従わせる法力を身に着けていたとされています。

また、弘法大師・空海が憧れたといわれ、役行者が開いたといわれる奈良県吉野郡の天河大弁財天社や大峯山で空海も厳しい修行を積んでいます。

修験道は宗教としての役割だけでなく、草木など自然や人体に深い知見をもっていたことから、修験を積んだ山伏は悩みの相談から医療まで幅広い分野で里の民の先生として尊敬されていたようです。山々の森羅万象を崇拜し、自然から学びを得てきた修験道の文化は、自然から遠ざかり災害を恐れるばかりになってしまった現代人にとって、もう一度見直す時期にきていると考える人が政官民各界のなかが増えてきています。

自然と人が助け合える環境づくりのために

修験の道は日本固有の歴史遺産であると認められ、大峯奥駈道がユネスコ世界遺産に登録されているほか、鳥取県の三徳山・三朝温泉が「六根清浄と六感治癒の地」として、山形県の出羽三山は「自然と信仰が息づく生まれかわりの旅」として日本遺産に登録されています。また、和歌山県～大阪府～奈良県の18自治体に経塚がまたがる日本最古の修験の道「葛城二十八宿」も日本遺産登録申請が予定されています。

特に日本遺産は、歴史遺産の保全以上に遺産を活用した地方創生への寄与度を重視して補助金が設定されているため、観光と保全の両立が大きな課題になります。また、修験道は日本古来の重要な伝統でありながら、地域の市民からも忘れ去られようとしているのが現実で、内外の観光客を呼び込むのもたやすいことではありません。

修験道が見直されるきっかけを作り、自然の大切さを現場で楽しく伝え、山にたくさんの人々を呼び込むには、自治体やボランティアだけではなく観光産業やスポーツ産業や電力・運輸産業やメディア産業など幅広い民間企業の協力も必要になります。グリーンバナー推進協会は官民をつないで、自然と人が助け合える環境づくりのために貢献したいと願っております。

【修験の聖地：大峯修験】



雄大な山々が連なる大峯山脈



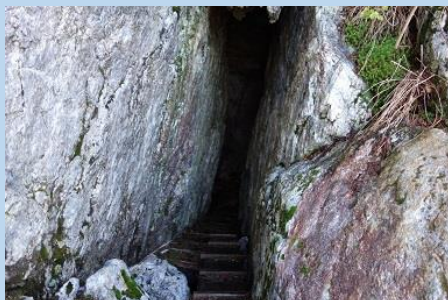
奈良県の吉野・大峯と和歌山県の熊野三山をつなぐ尾根道は「大峯奥駈道」として世界遺産登録



「西の覗き」と呼ばれる、絶壁から命を断つ覚悟で身をのり出し、仏の世界を覗く修行



大日岳の岩場



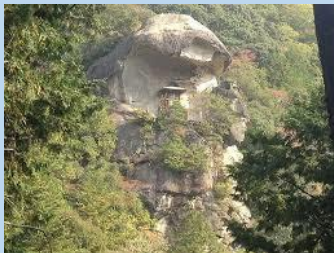
山上ヶ岳裏行場の胎内潜り入口

全国から修験者が集まる修験道の聖地。山登りを趣味とする人たちにとっては必ず一度は歩きたい山です。厳しい行場が多い大峯修行のエリアは今でも女人禁制を貫いていますが、家族で歩ける美しい山道も多くあり、近年は外国人観光客も多く訪れています。修験体験ができるコースも用意されていて、素人でも古来からの修験道の文化に触れることができます。

【西日本にある修験の聖地】



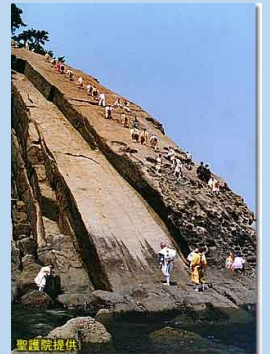
投入堂（鳥取県三朝町）は役行者が投げ入れたといわれる。室町時代の国宝



伊勢山上の飯福田寺（いぶたじ）【三重県松阪市】



大阪府泉佐野市の犬鳴山修験。女性も受け入れる女人修験



和歌山市加太の友が島。急な崖を登りきると役行者像が迎えてくれる

関西圏には役行者が開祖とされる寺院が多数あります。寺院での体験民泊やインバウンド観光客の受け入れなど、観光と伝統の保全の両立という難しい課題を抱えながら各地域が知恵を絞ってまちの活性化に役立てようとしています。